

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
保育原理		坂本 明裕		子ども学科 幼児保育専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
子どもの生活を豊かにするための「保育のあり方」について、様々な角度から取り上げる。子ども、保育の現場、保育者、保育の歴史等、子どもを核にして、保育全般について学んでいく。					
[授業の内容]					
●保育の目指すもの			⑧保育課程		
①幼稚園と保育所の違い			⑨指導計画		
②幼保の一元化			●保育の周辺		
③幼稚園教育要領			⑩保育の国際化		
④保育所保育指針			⑪障害児保育		
●子どもの発達と保育内容			⑫保育の思想		
⑤保育内容の5領域			⑬日本における保育の歴史		
⑥年齢による保育内容			⑭望ましい保育者像		
⑦様々な保育形態			⑮まとめ		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
「保育原理－保育者になるための基本」（同文書院）			①毎回のまとめ ②レポート ③試験 ④出席		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
保育内容総論		岡本 潤子		子ども学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	15回	30時間	講義	2単位
幼児期の学びは、毎日の子どもたちの生活の中にあります。子どもたちの生活を創るのは大人です。幼児教育の現場での話を中心に、子どもの本質に迫ります。その中から、保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現）を総合的にとらえることの大切さを学びます。素敵な先生になるために、専門性と人間性を一緒に考えましょう。					
[授業の内容]					
1. 幼児教育の基本			※14回目を目途に試験実施		
2. 保育内容の変遷					
3. 保育の総合的視点					
4. 保育者の専門性					
5. 保育における計画					
6. 保育の評価と記録					
7. 保育者論					
8. 現代の幼児教育の動向					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
「保育内容総論」（北大路書房）			○出席 ○受講姿勢 ○試験及びレポート		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
社会福祉総論		外崎 美香		子ども学科 幼児保育専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
社会福祉のついで概要を理解し、保育、すなわち児童福祉にかかわる上で求められる専門的視点を学ぶ。歴史的な過程から現在の状況へ理念的な理解を深めるとともに、現代社会における社会福祉の実際の運営・展開について概観する。					
[授業の内容]					
1. 社会福祉の基本的な考え方・視点		10. 社会福祉の運営体制の概説③（サービス体系）			
2. 社会福祉の価値観・理念		11. 市町村の役割と地域福祉			
3. 福祉ニーズの把握と社会関係		12. 権利擁護事業と苦情解決の仕組み			
4. 社会福祉と社会保障の概念の整理		13. 民間福祉事業・ボランティア・NPOの取り組み			
5. 海外における歴史的経過		14. 社会福祉従事者の各種資格とチームアップローチ			
6. わが国における歴史的経過		15. まとめ			
7. 社会生活における権利保障					
8. 社会福祉の運営体制の概説①（法的根拠）					
9. 社会福祉の運営体制の概説②（法制度）					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
未定			出席状況、平常点、試験を総合的に評価する。		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
発達心理学		鷲岳 寛		子ども学科 幼児保育専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
人間の発達とは身体のみに限らず、精神の面においても生涯を通して進んでいく。本講義では、そうした発達の中の基本的事項を学習するとともに、発達のさなかにある自分自身についても理解を深め、対人援助職として必要な知識と認識の仕方を身につけることを目標とする。					
[授業の内容]					
5回までの講義では、乳幼児期の心身の発達について学ぶ。		講義の中では、随時心理テスト等を組み入れ受講者自身の発達過程について認識を深め、教育・保育に携わる準備としての自己理解も積極的にすすめることを期待する。			
6回から10回までの講義では、児童期から思春期についての発達を概観し、その時期に特有の問題行動と、その対処についても触れる。		15回目ではまとめを行う。			
11回目から14回目では、青年期から成人期、老年期についての発達を概観し、その身体的・心理的特徴について学習する。					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
やさしくわかる発達心理学 ナツメ社			出席、受講姿勢、試験またはレポート		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
教育・学習心理学		佐藤 勝男		子ども学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	後期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
教育者・保育者として子どもとかわる上で必要な教育・学習心理学を具体的事例に基づいて学ぶ。					
[授業の内容]					
1. 授業ガイダンス・教師の資質			9. 特別支援を要する子どもの指導		
2. 性格形成論			10. 概念、態度、技術、創造の学習		
3. 教育相談と生徒指導			11. 対話のある授業		
4. カウンセリングの発想、技法、態度の応用			12. いじめの心理と対応		
5. テストと評価			13. 指導不服従生徒の指導		
6. 集団指導の原理と集団の機能			14. 不登校児童生徒の指導		
7. パブリックスピーチの方法と実際			15. まとめの小テスト		
8. 問題行動の発見と対応					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
授業内容の項目毎に作成したプリントを毎時間配付する。			授業態度・出欠回数・まとめ小テスト		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
教職論		田中 儀助		子ども学科 幼児保育専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
教職の意義、教員の役割、職務内容等に関する理解を深めることを通して、教職に対する自らの適性を考察するとともに、教職への意欲や一体感の形成を目指す。					
[授業の内容]					
1. 教職課程の仕組み、教職論の目標、内容			9. 保育者を目指す・願望から志望へ		
2. 教育の概念、陶冶と出会い			10. 保育内容研究「環境」専攻実習・栽培関係		
3. 保育するとは・保育者としての自己充実感			11. 現代社会の課題と展望		
4. 子どもと生きる保育者・環境構成			12. 世界の保育の課題と展望		
5. 子どもと生きる保育者・子どもと関わる			13. 保育所、幼稚園の発展に尽くした保育者		
6. 諸施設で働く保育者			14. これからの保育を考える		
7. 保育者の責任と義務			15. まとめ		
8. 保育者としての成長					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
岸井勇雄監修「保育者論」			出席、授業態度、試験、レポート		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
教職論		田中 儀助		子ども学科 子ども英語専攻	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
教職の意義、教員の役割、職務内容等に関する理解を深めることを通して、教職に対する自らの適性を考察するとともに、教職への意欲や一体感の形成を目指す。					
[授業の内容]					
1, 教職課程の仕組み、教職論の目標、内容      9, 教師の職務、不登校を考える 2, 教育の概念、陶冶と出会い                      10, 教師の職務、学級経営 3, 教育と感動、読売教育賞受賞論文            11, 教師論の歴史 4, 子どもの生活と学校                                12, 教師に求められる資質、能力 5, 中学校が抱える問題、生徒の実態            13, 教師の地位と身分・服務・研修 6, 教師の職務、学習指導その1                   14, 学校の管理運営 7, 教師の職務、学習指導その2                   15, まとめ 8, 教師の職務、生徒指導					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
教職入門（教師への道）			出席、授業態度、試験、レポート		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
教育原理		佐藤 勝男		子ども学科	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	7回	15時間	講義	1単位
[授業のねらい・目標]					
幼稚園や中学校の教諭として必要な教育に関する基礎理論を学ぶ。					
[授業の内容]					
1 教育とは何か。特色ある人間の出生形態      6 教育目的をめぐる問題 学習の必要性    7 教育の民主化と教育目的 2 人間における遺伝と環境 人間形成と発達 初期 3 教育現象 4 現代社会の生活環境と教育 現代社会の 教育課題 5 教育の目的 教育の目的をどう考えるか					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
授業内容ごとに作成したプリントを教材とする。			授業態度、出欠回数、まとめの小テスト		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
教育制度論		渡部 靖之		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	7回	15時間	講義	1単位
[授業のねらい・目標]					
日本の教育制度の歴史と背景を踏まえ、現在の教育制度、教育行政の体系と具体的な制度について理解し、今後の課題について検討する。					
[授業の内容]					
1. 生涯学習体系における教育制度 2. 学校教育制度 3. 社会教育制度と大人の学び 4. 参加型学習 5. 教員に関する制度 6. 教育をめぐる新しい動向から①(人権教育・人権学習) 7. 教育をめぐる新しい動向②(ボランティアとNPO)					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
毎回授業プリントを配布する。			1. 出席率 2. レポート		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
教育の方法と技術		佐藤（康）・田中・鷲岳		子ども学科 幼児保育専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	前期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
対象の理解を元にして、教育の計画立案、実施方法について演習を中心に行う。実際の教育方法と技術を実施者、または対象者として体験してみた上で、理論的背景についても理解することを目的とする。					
[授業の内容]					
1. 指導計画案作成の意義と立案の方法 2. 指導計画の作成 3-5. 模擬保育と事後の研究会 6. 実習 ミニとまとの栽培 7. 記録 ミニとまとの栽培記録（壁新聞） 8. 発表 ミニとまとの栽培記録の発表 9. 制作 紙コップ劇場の制作 10. 公演 紙コップ劇場の発表 11. 子どもについての研究法 12. アセスメント実習 13. 保育者としてのアサーション 14. ソーシャルスキル 15. まとめ					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
指定なし			出席・参加態度・レポートまたは試験などで総合的に評価を行う。		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
教育の方法と技術（中英）		坂本明裕・江口真理		子ども学科 子ども英語専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
教育の方法と技術についてのこれまでの歴史を学び、「学習」「授業」「評価」等について考察する。また、情報機器の操作方法、教科「英語」についての指導法や技術についても学ぶ。					
[授業の内容]					
第1回～第4回		第7回～第15回			
●教育方法・技術の歴史		●英語科教育の指導法			
①教育方法の歴史		①指導案			
②教育課程の変遷		②授業の展開			
●学力と教育評価		③評価			
		④マイクロ・ティーチング			
第5回～第6回					
●教育機器の活用					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
授業で指示する。			①演習課題 ②試験 ③出席		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
表現研究		泉谷・坂本・木村・鎌田・鷲岳・橋本・永澤・溝江・成田		子ども学科 幼児保育専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	通年	30回	60時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
幼児期の遊びや生活における子どもの表出や表現は、まわりの大人に受け止められることにより育まれていく。したがって保育者は自らの感性を養い、自分自身が自由に率直に表現できる柔軟な心と身体を養い、表現技術を身につけることは大切である。そこで、表現の媒体を言語・身体・音楽・造形・英語等の中から選択し、演習・実技を通して自らの表現を研究し、グループの協働による研究成果を「表現研究発表会」および「出前公演ボランティア」を行い発表する。					
[授業の内容]					
(1)(合同)授業概要と年間計画		(16)(各グループ別)後期の授業計画の再確認			
授業の評価の観点の説明		(17)～(24)(主に各グループ別)			
各表現グループの研究の方法とねらい		発表会の打ち合わせと進行・演出確認			
表現研究発表会の目的と共通理解		発表の研究と準備			
各表現グループの振り分け		舞台リハーサル(※合同)			
(2)～(14)(各表現グループ別)各表現の課題設定		表現研究発表会(※合同)			
各表現グループにおける表現の特質と方法論		表現研究発表会の反省会			
発表会の企画と役割分担		(25)～(30)(各グループ別)			
(15)(各グループ別)前期のまとめ		保育園・幼稚園への出張講演ボランティアの取り組み			
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
			①出席率 ②課題及び研究への取り組み状況 ③発表会 ④反省会		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
総合演習		専任教員		子ども学科 幼児保育専攻	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	通年	30回	60時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
これまでの各領域の学習をもとに、社会の情勢や時事問題、保育や教育および関連する領域のテーマについて調査や研究を通してその手法を学ぶとともに、その結果をまとめプレゼンテーションを行う。					
[授業の内容]					
各領域の基礎的な知識や研究動向を理解した上で次のように研究をすすめる。					
1. テーマの設定		2. 研究			
これまでの学習や実習の中から自身のテーマを設定する。その際に、以降行う実習の中に活かせる課題・研究テーマであることが望ましい。		前期においては、課題研究の手法や基礎的な知識を確認するとともに、各自の問題意識を深める。 後期においては、各自が設定した研究テーマに基づき研究を進め、発表の準備を行う。			
		3. 課題研究発表			
		各自の研究テーマについてプレゼンテーションを行う			
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
別途指示する			出席・受講姿勢・研究成果		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
インターンシップ		大澤、成田		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	実習	2単位
[授業のねらい・目標]					
産学連携による人材育成を図るため、将来のキャリアに関連した就業体験を通じ、学習意欲を喚起し、職業意識の育成を図る。					
[授業の内容]					
1. インターンシップガイダンス		5. 事後指導		⑭	
①インターンシップの意義と目的		6. まとめ		⑮	
②企業の理解					
2. インターンシップにあたっての注意事項		③			
3. 実習オリエンテーション		④			
事前指導		⑤			
事前指導		⑥			
4. 実習		⑦～⑬			
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
必要に応じプリントを配布する。			①インターンシップの報告書 ②事前事後レポート ③企業の評価 ④授業(実習)の出席率		